

第1分科会 教育課程に関する課題

研究主題

地域の特性を活かした特色ある
教育活動の推進と教頭の役割

副題

保小中における組織的な連携と
ふるさと教育の取組を通して

提言者 島根県隠岐郡教頭会 隠岐の島町立五箇小学校 大濱 雪美
隠岐の島町立五箇中学校 永海 伸高

本日の発表内容

- I 研究の概要
- II 取組の紹介
- III 成果と課題



I 研究の概要

1. 主題設定の理由

隠岐郡教頭会の研究より

H30年度 特色ある学校づくりを進めるための教育課程の編成・実施について

R1年度～R3年度 知夫小中学校での実践

ふるさと教育

小中一貫校の強みを活かした特色ある教育活動の推進

- 👉 9年間のつながりを持った総合的な学習の時間の構想・計画・実施
- 👉 「つなぐ」をキーワードに教育課程を工夫・改善
- 👉 PDCAサイクルの着実な推進

教頭の役割

R4年度～ 知夫小中学校（小中一貫校）の実践で得た成果や知見を隠岐郡として
どのように活かしていくか

島前地区 西ノ島小中学校（※一貫校）
海士中学校区（海士小・福井小）
知夫小中学校（※一貫校）
島後地域 西郷中学校区（西郷小学校）
西郷南中学校区（有木小・中条小・磯小・北小）
都万中学校区（都万小）
五箇中学校区（五箇小）

連 携

研究主題
副 題

地域の特性を活かした特色ある教育活動の推進と教頭の役割
保小中における組織的な連携とふるさと教育の取組を通して

2. 取組の方向性

保小中の連携に視点をあてたときの 五箇中学校区の現状として

強み

- ・ 保小中が同じエリアにあり、伝統的に交流が盛んである。
- ・ 地域の意識として「保小中はつながっているもの」としてとらえている。
- ・ 地域が保小中に協力的であり、地域の「ひと・もの・こと」を活用しやすい。

弱み

- ・ 保小中において行事的な交流は盛んだが、どのような子どもを育てたいかということについての議論は不十分である。
- ・ 互いにどのような特色ある活動を行っているかを十分に共有しているとまでは言えず、保小中での目指す方向が一方向になっているとは言いがたい。

具体的な取組として

①保小中学校の組織的な連携を推進するための基盤づくり

- 五箇教育推進会の充実
- 保小中の組織的な連携強化
- 五箇地域の「ひと・もの・こと」を共有・活用し、地域の特性を活かした特色ある教育活動の充実とつながり

②「ふるさと教育」における特色ある教育活動の推進のための枠組づくり

- 五箇中学校区ふるさと教育全体計画（小中）と五箇中学校区地域教育資源を活用したふるさと教育一覧表（保小中）の作成
- 目標・重点の共有、保小中におけるふるさと教育の「見える化」と交流・連携の促進
- 教育課程のつながり

③特色ある教育活動の推進を図る教育課程の工夫・改善

- 総合的な学習における「地域のひと・もの・こと」を活用した実践
- 地域と教職員のつながり

3. 研究のねらい

取組における教頭の役割として

- ①五箇教育推進会の運営
（管理職部会としての各専門委員会への助言・指導・支援）
- ②各分掌（特にふるさと教育担当・総合的な学習の時間担当）
のリーダーへの働きかけ・支援

教頭として、教職員に対してどのような関わり方をすればよいのかについての関与の在り方を明らかにするとともに、地域のよさや教育資源をより良く教育活動に結びつけ、子供たちの資質・能力の育成に寄与する。

4. 研究のスケジュール

令和3年度

R4. 1月～ 2月 五箇小・中学校における研究の方向性の検討

R4. 1月～ 2月 研究の基盤についての検討

- ・五箇教育推進会の在り方の検討と改革案の作成
- ・五箇中学校区ふるさと教育全体計画（小中）及び地域資源を活用したふるさと教育一覧表（保小中）の検討と修正案の作成

令和4年度

R4. 4月 五箇教育推進会・全体計画及び一覧表についての共通理解

R4. 5月～ 9月 取組の実践

- ・五箇教育推進会の運営（各専門委員会への助言・指導・支援）
- ・ふるさと教育担当及び総合的な学習の時間担当への働きかけ・支援

R4. 10月～12月 取組の実践と検証方法の検討

- ・総合的な学習の時間に関わるアンケート案の作成や検証材料の検討

R5. 1月～ 3月 令和4年度研究のまとめと令和5年度研究の検討

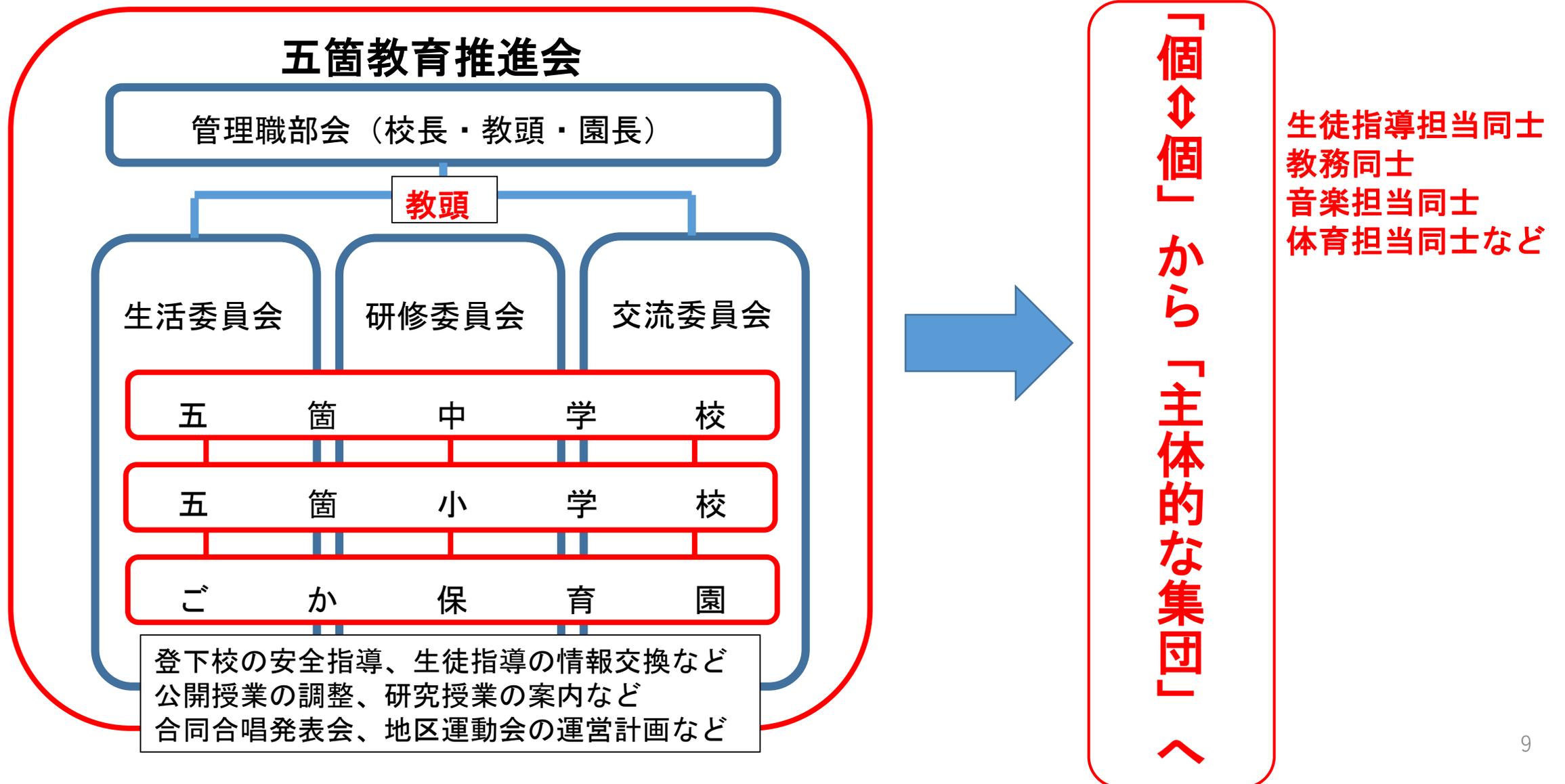
令和5年度

※五箇小学校・五箇中学校での研究の最終年（研究の実践と2カ年の研究のまとめ）

Ⅱ 取組の紹介

1. 五箇教育推進会の充実

(保小中学校の組織的な連携を推進するための基盤づくり)



五箇教育推進会

管理職部会（校長・教頭・園長）

教頭

生活委員会

研修委員会

連携委員会

五 箇 中 学 校

五 箇 小 学 校

ご か 保 育 園

各委員会の委員長の支援

各委員会の委員長が
中心となり、運営

生活委員会の事例紹介

5月（第1回）

五箇の子供たちの良さと課題について意見を交換し、どんな五箇の子供を育てたいか、どんな力を高めたいかについて考えた。

8月（第2回）

夏季休業中に教育事務所生徒指導専任主事に講師を依頼し、保小中職員を対象とした子供理解の研修を企画した。

（※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止と
なってしまいましたが、、、）

11月（第3回）

生活委員会として育てたい子供像、高めたい力に視点をあてて情報交換を行い、3学期の指導について話し合いを行った。

1. 目的

五箇の子供たちの 良さと課題 を保小中で共有し、
どんな子供たちを育てたいのか 同じビジョンを持つ。

2. 内容

- (1) 五箇の子供たちの良さと課題を考える。
- (2) 生活委員会としてどんな子供たちを育てたいのかを考える。

○五箇の子供たちの良さ

- ・明るく、元気なところ。
- ・素直で言われたことややるべきことに、一生懸命取り組む。
（行事、校歌、掃除など）。
- ・地域とのつながりが強い。
- ・保護者が協力的。
- ・子ども同士の仲が良い（異学年でも）。
- ・体力作りを頑張っている。
- ・挨拶のできる子供が多い（特に中学生）。

○五箇の子供たちの課題

- ・固定化した人間関係。
- ・改まった場に弱い（TPOの意識）。
- ・聞くことが苦手な人が多い。
（人の方を向く、けじめ、手書き）。
- ・挨拶、返事。
- ・視野が狭い。
- ・勉強や体力作りに向かう姿勢。
- ・メディアが長い（特にゲーム）。
- ・人に流されやすい（主体性がない）。

生活委員会としてこんな子供を育てたい、こんな力を高めたい（案）。

- ◎人の話をしっかり聞き、自分の意見を言うことができる子ども。
- ◎どんなことにも粘り強く取り組むことができる子ども。
- ◎明るく元気に挨拶や返事をするができる子ども。

⇒Action！委員会としてどんな取り組みができそうですか？

次回委員会までに、各自考えたり、実践を通して試したりしてみましょう。11

教頭の役割として

●五箇教育推進会運営の中心（組織の基盤づくり）

- ・管理職部会において学校長、園長に運営方針を説明し、提案を行ったり、助言を求めたりした。
- ・年度始めの総会において、全会員に五箇教育推進会の活動等について説明し、共通理解を図った。

●各委員会の委員長と副委員長との関わり（主体的な活動の促進）

- ・総会以前に五箇教育推進会の在り方について説明し、その意義や目的について共通理解を図るとともに、意見交換等を行った。
- ・ただ単に何かを一緒に行うのではなく、各委員会が「ねらい」を持ち、1つでもよいので協働できることを行ってほしいことを伝えた。
- ・適宜、委員長と副委員長の相談にのり、各委員会運営についてアドバイスを行った。

●各委員会の定期的な開催のための日程調整（定期的な開催に向けた支援）

- ・毎月1回の管理職部会で保小中の行事予定を見ながら、開催可能な期間を設定した。
- ・3つの委員会を連続した3日間で行えるようにした。
- ・校務に支障をきたさないよう配慮し、時間は小中学校の終礼後から勤務時間までの30分間の開催とした。

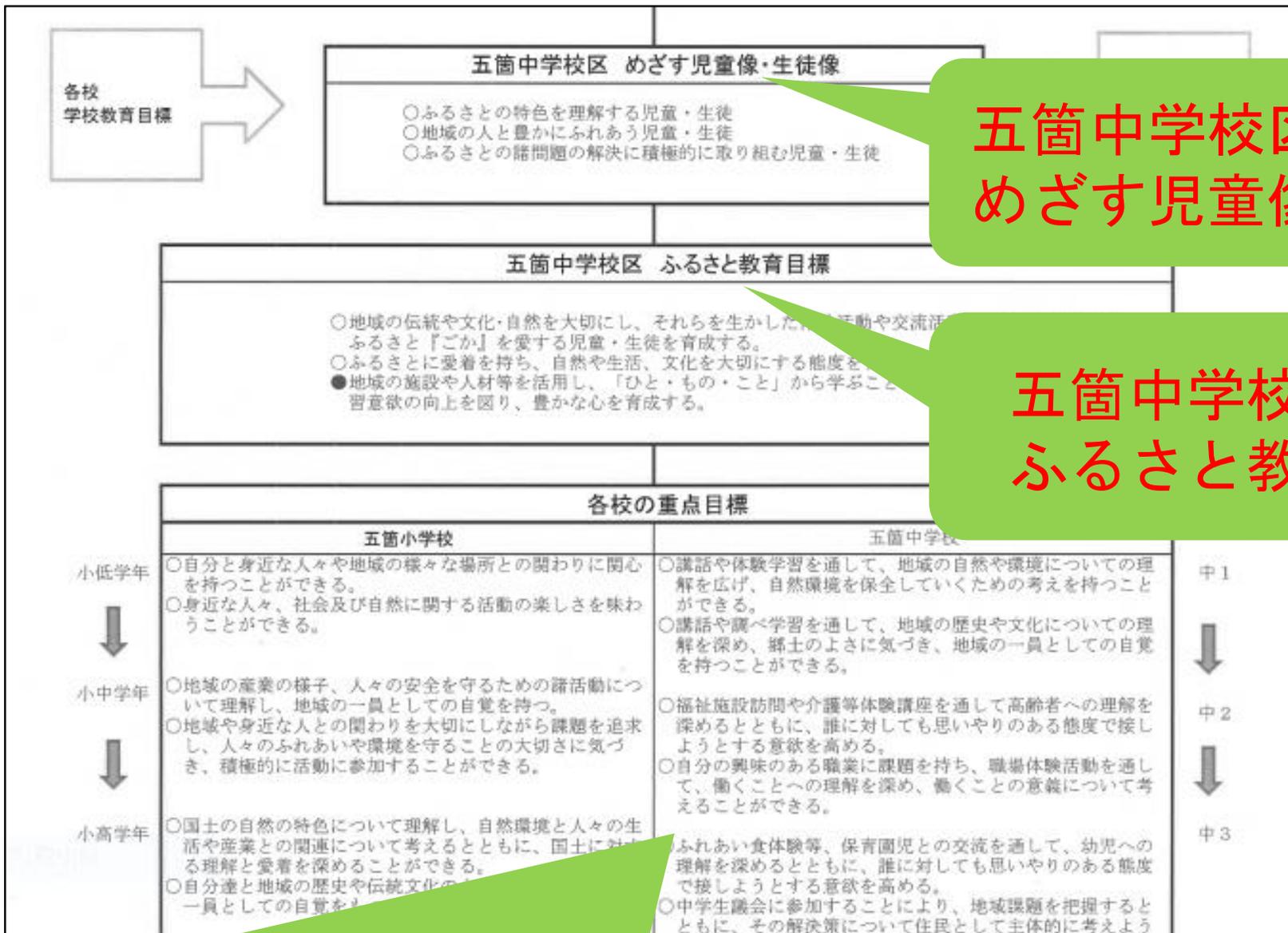
2. 全体計画と一覧表の作成

(「ふるさと教育」における特色ある教育活動の推進のための枠組づくり)

主な地域資源
(人的資源)

隠岐の島町
ふるさと教育
基本目標





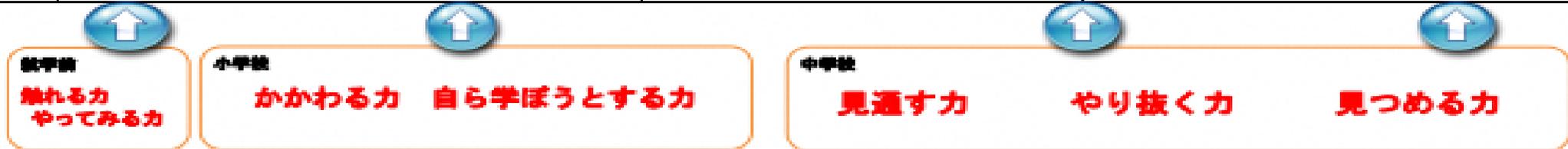
五箇中学校区
めざす児童像・生徒像

五箇中学校区
ふるさと教育目標

重点目標 小学校（低・中・高） 中学校（中1・2・3）

令和4年度 隠岐の島町五箇中学校区 地域教育資源を活用したふるさと教育

重点目標	向かっていく学力	広がっていく社会力	高まっていく人間力
------	----------	-----------	-----------



保育所	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

活動			福祉体験学習	中学生議会
教科・領域			総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
ねらい	福祉 優 ら う じ る	「ふ お 職 員 に 活 社 に ま と め	地域の福祉施設を訪問し、お年寄りらとの交流を通して福祉や介護についての理解や関心を深める。	中学生議会に参加することにより、地域課題を把握するとともに、その解決策について住民として主体的に考えようとする態度を養う。

教頭の役割として

●ふるさと教育担当との関わり（全体計画の作成）

- ・ 地域資源（物的・人的）についての情報交換及び情報提供や意見交換を行った。
- ・ 校区の「めざす児童像・生徒像」および「ふるさと教育目標」の検討を行った。
- ・ 重点目標の設定について、発達段階に視点をあて、9年間での系統的な力の育成が示すことができるよう助言を行った。
- ・ 保育園長に小中のふるさと教育について説明を行った。
- ・ 小中の職員会議で「五箇地区のふるさと教育」として説明し、職員の共通理解を図るよう担当に指示をした。

●総合的な学習の時間担当との関わり（一覧表の作成）

- ・ 各学年の主となる活動について、ねらいを明確に示すよう指示をした。
- ・ 保育園長に一覧表作成の協力をお願いし、保育園の説明を小中の担当に伝達した。
- ・ 小中の職員会議で総合的な学習の時間について、一覧表についても説明し、「保小中のつながり」を職員で共通理解を図るよう担当に指示をした。
- ・ 一覧表は保育園職員にも配布し、保小中のふるさと教育の「見える化」を図った。

3. 総合的な学習における 「地域のひと・もの・こと」を活用した実践 (特色ある教育活動の推進を図る教育課程の工夫・改善)



五箇小学校の取組

- (1) 年間計画見直しの土台作り
- (2) 年間計画見直し
- (3) 各学年の実践への支援

(1) 年間計画見直しの土台作り【教頭・主任】

- ①五箇中学校区ふるさと教育全体計画と五箇小学校のふるさと教育・総合的な学習の時間全体計画・年間計画の系統性の確認・整理
- ②4年間の学びを通して目指す子供の姿を明確にする
- ③令和3年度の総合的な学習の時間の取り組みの振り返りと年間計画見直しの必要性について主任と共有

①全体計画等の系統性の確認・整理

令和4年度 隠岐の島町立五箇中学校区 ふるさと教育全体計画

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法など諸法規
- ・学習指導要領

学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び自ら考え、たくましく生きる、五箇の子供を育てる

- 保護者の願い
- 教師の願い

五箇中学校区 ふるさと教育目標

- 地域の伝統や文化・自然を大切にし、それらを生かした体験活動や交流活動・情報活動を通して、ふるさと『ごか』を愛する児童・生徒を育成する。
- ふるさとに愛着を持ち、自然や生活、文化を大切にする態度を育てる。
- 地域の施設や人材等を活用し、「ひと」「こと」「もの」から学ぶことによって、児童・生徒の学習意欲の向上を図り、豊かな心を育成する。

隠岐の島町ふるさと教育基本目標

隠岐びとを育む学校・家庭・地域の連携～ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進

- 発達段階や系統性などを踏まえた教育計画と推進体制を整え、ふるさとへの愛着と誇りをもつ児童・生徒を育成する。
- 公民館や家庭・地域との事業連携を進め、幅広い視野をもった次代を担う隠岐びとを育成する。
- 地域社会の一員として、地域課題に積極的に関わり、ふるさとへの貢献意欲を高める。

地域の実際

- 豊かな自然に囲まれ、ジオパークでは福浦トンネル・黒曜石・ローソク島など学ぶ資料もたくさんある。
- 古典相撲、神楽、牛突き、水若幹神社祭礼風流、など数多くの伝統・文化の伝承を積極的にに行い、今もなお、地域のコミュニティが生きている。
- 竹島は五箇地区に属しており、返還のための活動もかかっている。
- 地域の教育資源

ひと	福浦 正隆 福島 宗吉 相馬 清美
もの	福浦トンネル 隠岐黒曜石 隠岐シラフダ ローソク島
こと	五箇祭(水若幹神社祭礼風流) 一太郎生突き 牛突き 隠岐全県相撲 隠岐民謡

児童・生徒の実際

(児童)

- 島根県学力調査にある「今住んでいる地域の仲間に対して、肯定的な回答をした児童の割合は比活動に積極的に取り組む児童が多い。
- 明るく素直な児童が多いが、自分の考えを表現

(生徒)

- 島根県学力調査にある「地域や文化についてあるかとの質問に対しての肯定的な回答は、関心が高い傾向が見られる。
- 地域の行事や催しに参加し、五箇大会、牛突き大会などに参加・見学す

「ふるさと」のイメージを
「ふるさと」の立場で計画した
事業は、
組める利点がある

本校のふるさと教育のねらい

- ・地域の伝統や文化・自然を大切にし、それらを生かした体験活動・交流活動・情報収集活動を通して、ふるさと「五箇」を愛する児童を育成する。
- ・ふるさとに愛着を持ち、自然や生活、文化を大切にする態度を育てる。
- ・地域の施設や人材等を活用し、「ひと」「こと」「もの」から学ぶことによって、児童の学習意欲の向上を図り、豊かな心を育成する。

【本校のふるさと教育のめざす子ども像】五箇中学校区共通

○ふるさとの特色を理解する児童 ○地域のひと豊かにふれあう児童 ○ふるさとの諸問題の解決に積極的に取り組む児童

【本校のふるさと教育で身につけさせたい力】

- 課題発見力
- 表現力
- 人間関係
- 問題解決力

総合的な学習の時間を中心にすえて、目指していく。

② 4年間の学びを通して目指す子供の姿を明確にする

令和4年度 五箇小学校 総合的な学習の時間単元配当

(ふるさと) ・地域の伝統や文化・自然を大切にし、それらを生かした体験活動・交流活動・情報収集活動を通して、ふるさと「五箇」を愛する児童を育成する。 ・地域の施設や人材等を活用し、「ひと」「こと」「もの」から学ぶことによって、児童の学習意欲の向上を図り、豊かな心を育成する。													①ふるさとの特色を理解する児童 ②地域の人と豊かにふれあう児童 ③ふるさとの諸問題の解決に積極的に取り組む児童
	地域の豊かな自然や文化、人との関わりや多様な体験活動などを通して、自ら課題を見付け、追求し、解決していく力を高めるとともに、自分の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質、能力を育成する。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さがわかり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。												①身の回りの社会や自然に積極的に関わろうとする児童 ②自分の力で課題をよりよく解決しようとする児童 ③自分の考えを豊かに表現しながら、積極的に人と関わろうとする児童
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校行事等	入学式 1年生を迎える会 遠足	小体連陸上交流大会	プール掃除 ふれあい運動会 いも苗挿し 田植え	大掃除 教育キャンプ	環境 整備 活動	バスケットボール 交流大会?	いもほり 稲刈り	稲こき 餅つき大会(PTA) (どんと祭り)	大掃除	(寒稽古)	地域公開参観日	大掃除 さよなら集会 卒業式・修了式	
週数	3	3	4	2		4	4	3	3	3	4	2	
月時数	6	6	8	4		8	8	6	6	6	8	4	
学期時数	24				28				18				
総時数	70												
3年													
4年	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> ①身の回りの社会や自然に積極的に関わろうとする児童 ②自分の力で課題をよりよく解決しようとする児童 ③自分の考えを豊かに表現しながら、積極的に人と関わろうとする児童 </div>												
5年													
6年													

③振り返り及び年間計画見直しにおける主任との共有

〈課題〉

- 1) 五箇地区の教育資源（ひと・もの・こと）を活かしきれていない。
- 2) 地域課題の解決につながる探究的な課題が設定されていない。
- 3) 総合的な学習の時間が担当者まかせになっており、地域のことかわからない新任者にとって、総合的な学習の時間が取り組みにくいものとなっている。

(2) 年間計画見直し【教頭・主任・全教員】

- ① ふるさと教育・総合的な学習の時間の目指す
子供像の共有
- ② 五箇地区の教育資源（ひと・もの・こと）の
洗い出し
- ③ 4年間の学び、中学校での学びへの移行を意
識した年間計画の作成

①ふるさと教育・総合的な学習の時間の目指す子供像の共有

【本校のふるさと教育のめざす子ども像】五箇中校区共通

○ふるさとの特色を理解する児童 ○地域の人と豊かにふれあう児童 ○ふるさとの諸問題の解決に積極的に取り組む児童

【本校のふるさと教育で身につけさせたい力】

○課題発見力 ○表現力 ○人間関係力 ○問題解決力

五箇の特色・・・牛突き、
やまひき、久見神楽、
ローソク岩

数多く残る五箇地区
の自然・伝統文化を単
元に取り入れられない
だろうか・・・

地域の人・・・五箇地
区には、自然・伝統・文
化を大切にしている人
がたくさんいる。

子供たちとふれあう
機会をつくれな
いだろうか・・・

4年間の学びのゴールとして、6年生の単元で取り入れられないだろうか・・・

②五箇地区の教育資源（ひと・もの・こと）の洗い出し



③ 4年間の学び、中学校での学びへの移行を意識した年間計画の作成

令和4年度 五箇小学校 総合的な学習の時間単元配当

(ふるさと) 目標	・地域の伝統や文化・自然を大切に、それらを生かした体験活動・交流活動・情報収集活動を通して、ふるさと「五箇」を愛する児童を育成する。 ・地域の施設や人材等を活用し、「ひと」「こと」「もの」から学ぶことによって、児童の学習意欲の向上を図り、豊かな心を育成する。									①ふるさとの特色を理解する児童 ②地域の人と豊かにふれあう児童 ③ふるさとの諸問題の解決に積極的に取り組む児童		
(総合) 目標	地域の豊かな自然や文化、人との関わりや多様な体験活動などを通して、自ら課題を見つけ、追求し、解決していく力を高めるとともに、自分の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質、能力を育成する。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さがわかり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。									①身の回りの社会や自然に積極的に関わろうとする児童 ②自分の力で課題をよりよく解決しようとする児童 ③自分の考えを豊かに表現しながら、積極的に人と関わろうとする児童		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	入学式 1年生を迎える会 遠足	小体連陸上交流大会	プール掃除 ふれあい運動会 いも苗挿し 田植え	大掃除 教育キャンプ	環境 整備 活動	バスケットボール 交流大会?	いもほり 稲刈り	稲こき 餅つき大会(PTA) (どんと祭り)	大掃除	(寒稽古)	地域公開参観日	大掃除 さよなら集会 卒業式・修了式
週数	3	3	4	2		4	4	3	3	3	4	2
月時数	6	6	8	4		8	8	6	6	6	8	4
学期時数	24					28				18		
総時数	70											
3年	探究課題 地域の人々との交流 (70) テーマ:五箇っ子交流隊!(仮) 対象: 保育所 福祉施設 養護学校 外国の方 民謡									・竹島学習		
4年	探究課題 地域の伝統、文化 (70) テーマ: 隠岐の魅力発見隊(仮) 対象:うしつき すもう 神楽									・竹島学習		
5年	探究課題 地域の農業、食 (50) テーマ:作ろう 食べよう つながろう 五箇っ子米(仮)									探究課題 児童の興味関心に基づく課題 テーマ 卒業生に感謝の気持ちを伝えよう(20)		
6年	探究課題 児童の興味関心に基づく 課題 (5) テーマ:新入生を迎えよう	探究課題 国際平和 (15) テーマ:平和について考えよう(仮) 対象:平和に関する資料、原爆ドーム			探究課題 地域貢献 (30) テーマ:五箇村のために 今 私たちにできること(仮) 対象:地域の人々				探究課題 児童の興味関心に基づく課題 (10) テーマ 在校生に感謝の気持ちを伝えよう			
	探究課題:地域の歴史 テーマ:竹島と五箇村 (10)											

(3) 各学年の実践への支援【教頭】

① 初任者への支援

② 6年生の総合的な学習の時間の支援

①初任者への支援

1) 単元計画作成の支援

3年：総合的な学習の時間

単元名「みんなでハッピー大作戦」

～ふれあい五箇との交流～

ねらい

○地域の一員として、ふれあい五箇が利用者にとってどのような場なのか、何をしているところなのか等を知る。

○ふれあい五箇の利用者や職員の方の思いをもとに、自分たちにできることを考え一緒に楽しむ。

初任者の思いを聞き取り、単元構成に反映させる。



2) 「ふれあい五箇」への協力依頼

3) 交流学級担任との初任者支援方針の確認

② 6年生の総合的な学習の時間の支援

1) 単元計画作成の支援

6年：総合的な学習の時間

単元名「五箇のみんながわくわくする地域にしよう」
ねらい

○ふるさと五箇の魅力や課題について調べることを通して、五箇地区の魅力や課題について理解する。

○ふるさと五箇の魅力や課題をについて調べることを通して、今後の五箇地区のあり方について、よりよい地区になるよう、自分なりに考える。

○ふるさと五箇の魅力や課題について調べることを通して、今後、五箇地区で暮らしていく上で、自らの生活や行動に活かすことができる。

指導者の思いを聞き取り、単元構成に反映させる。



2) 指導体制の支援

○5名の指導体制 ○打ち合せ会の設定

五箇中学校の取組

ジオパーク学習（1年生 & 3年生）

- ・ 隠岐ジオパークツアーデスクに依頼
- ・ ガイドに説明してもらいながら巡検



地質構成・植生
地域の歴史文化

職業人講話（2年生）

- ・ 職場体験学習の前段階として
- ・ 五箇地区で働いておられる方が講師



様々な年代や職業の
講師陣に職業意識や
大切なこと、中学生
に期待すること

隠岐びとのこころ講話（2年生）

- ・ 隠岐を離れ生活している方が講師
- ・ ふるさと（五箇地区）への思い



離島する時の気持ちや
考え、他地域での生活、
故郷へのかわらぬ思い

五箇中学校の取組

GO-プロジェクト（3年生）

- 地域に出かけ、地域で活躍する方と地域の課題を解決
- 提案だけでなく、実践



教頭の役割として

① つなぐ

・ 組織内の連携

- ☞ 目指す児童・生徒像の共有
- ☞ 情報交換の機会の設定

・ 地域と学校の関係

- ☞ 地域コーディネーターの活用
- ☞ 地域と学校の窓口としての教頭

教頭の役割として

②支える

・ 教員の支援

☞ ニーズに応じた支援

☞ 指導者の思いを大切にした支援

・ P D C A サイクル

☞ 計画・実行段階での助言 (**P D**)

☞ 振り返りでの評価・改善 (**C A**)

③整える

- ・ 年間計画や指導体制

- ↳ 地域人材や地域資源の活用

- ↳ 全体計画や年間計画の作成

成果① 保小中連携の深まり

～令和4年度五箇教育推進会を終えての感想より～

- ・ 保小中で子どもの様子を話し合い、共通理解を図ったり、同じ目標に向かって活動に取り組むことができた。
- ・ 園や小中学校の参観をとおして、活動や学習の様子がわかり、子どもがどのように成長しているかを想像することができた。
- ・ 子どもについての情報交換等をとおして、異校種の先生方の考えや意見を聞くことができて参考になったし、自分の指導に生かした部分もあった。

成果② 児童・生徒の意識変化

- ・ 小学6年生、中学3年生を対象とした意識調査では、地域への貢献意欲や総合的な学習への取組意欲に向上が見られた。

1 あてはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない

五箇小学校6年生	月	1	2	3	4
地域のことについて調べたり調べたことを発表したりするなどの学習に熱心に取り組んでいる。	4	14.3	50.0	21.4	14.3
	1 2	30.8	38.5	23.1	7.7
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか。	4	6.7	40.0	53.3	0.0
	1 2	15.4	38.5	30.8	15.4

五箇中学校3年生	月	1	2	3	4
地域のことについて調べたり調べたことを発表したりするなどの学習に熱心に取り組んでいる。	4	7.7	46.2	46.2	0.0
	2	38.5	23.1	38.5	0.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか。	4	0.0	28.6	71.4	0.0
	2	84.6	15.4	0.0	0.0

成果③ 教頭の役割の試行錯誤

- 五箇教育推進会の活動をふるさと教育の充実という視点を加えて見直しを図ることをとおして、組織の運営者や保小中連携のコーディネーターとしての役割について深く考え、経験的に学ぶことが多々あった。
- 小中教頭同士で情報交換や意見交換が行う機会が増え、教員への支援のあり方を話し合うことができた。教頭の役割について悩みや迷いもあるが、このような機会によりよい関わり方を模索することができた。

課題① 地域資源の活用とふるさと教育の充実

- ・ 中学校教職員を対象とした学校評価（年度末）からは、「ひと・もの・ことの活用」や「ふるさと教育の取組」について、さらに工夫や改善が必要であろうことが見て取れた。

A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまり思わない D…そう思わない

項 目	A	B	C	D
本校の教育活動において、地域の「ひと・もの・こと」は積極的に活用されていると思う。	2	8	1	0
本校の教育活動は、生徒がふるさと教育のよさを感じられる有効な取組となっていると思う。	2	7	2	0

課題② 五箇教育推進会の充実

- ・ 令和4年度から新しい試みを実践し、一定の成果が感じられた一方で、まだまだ改善の余地がある。五箇地区のふるさと教育の基盤としての機能をさらに発揮できるようにしたい。

五箇教育推進会

管理職部会

生活委員会

研修委員会

連携委員会

五 箇 中 学 校

五 箇 小 学 校

ご か 保 育 園

教頭が組織運営の中心となり

保小中連携の基盤づくり
(ふるさと教育推進の基盤)

ふるさと教育担当・総合的な学習の
時間担当への指導・助言・支援

五箇中学校区（保小中）ふるさと教育推進
のコーディネート〈全体計画・一覧表〉

地域の教育資源（ひと・もの・こと）の活用

地域の教育資源活用についての助言・支援

地域の特性を活かした特色ある教育活動の推進

おわりに

今年度が最終年となりますが、五箇地区全体で子どもを育てていくことはこれからもずっと続いていきます。

2カ年の取組を参考にして、今後も五箇保小中ふるさと教育の充実を常に目指していきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました

